

会 議 録

会議の名称	平成30年度飯塚市地域福祉推進協議会
開催日時	平成31年2月18日（月） 14:00～16:30
開催場所	飯塚市役所本庁2階 202・203会議室
出席委員	15名（小賀委員、寺尾委員、松原委員、高石委員、田代委員、高岡委員、伊佐委員、重岡委員、浅田委員、渡邊委員、安永委員、長谷部委員、佐野委員、圓入委員）
欠席委員	2名（秀村委員、西委員）
市職員	福祉部長（山本）、福祉部次長（石松）、社会・障がい者福祉課長（安藤）同社会福祉係長（平田）、同係員（永富）、高齢介護課長（小西）、同課長補佐（森山）、防災安全課長（上野）、同防災係長（原）、まちづくり推進課課長補佐（橋本）、人権・同和政策課長（大庭）、生活支援課長（渡部）、子育て支援課長（松岡）
会議内容	<p>1 開会 ○事務局挨拶</p> <p>2 議事 議題1：第2期飯塚市地域福祉計画の平成29年度推進状況について (1) 行政（公助）の取り組み状況調査結果 (2) 共助の取り組み状況調査結果 (3) 公助、共助の取り組みにおける課題 ○事務局より、資料1・2・3・4]を用いて説明 【委員からの意見、質疑応答】 ○ 公助（行政）の取り組み状況一覧表について、目標値の見直しは行われないのか。 ⇒ [社会・障がい者福祉課] 現在の目標値は、各課において、各事業ごとの事務事業評価を行い設定している。今後、地域福祉計画の見直し時期にあわせ、各課において、改めて目標値の設定が行われる。 ○ 民生委員が、避難行動要支援者名簿の調査や災害時の支援をすることは難しい。自治会組織で行うことはできないか。また、自治会によっては、自治会長が要支援者名簿を所持していないところもあるため、全自治会長に持ってもらうことはできないか。</p>

⇒ [社会・障がい者福祉課] 民生委員及び自治会長に、要支援者情報の所持についてお願いしているが、自治会長の名簿所持について理解をいただくに至っていない地区もある。

⇒ [会長より] 行政が自治会に対し、要支援者名簿の所持について強制する権限はないため、自治会ごとの違いを認めざるを得ず、民生委員も、自分たちの避難を最優先したうえで、他に何かできる余力があれば手助けをしていくというのが基本的な考え方であるため、住民間の支援が整わない区域については、まず、その対策を講じていくことを考える必要がある。例えば、福祉施設へ通所するためのマイクロバスを使って救助に向かうなど、福祉事業者の協力を得ることにより、カバーできる部分もあると思う。また、指定避難所等に、障がいのある方や介護が必要な高齢者が利用しやすい設備が整っていない場合、他の避難所への移送する方法等についてももしっかり考えておくべき時期に来ていると思う。

- 災害時には、個人情報課題を超えた新しい組織が必要でないか。自治会の加入状況に関わらず、全市民を取り込み、福祉事業所等とも連携した情報共有できるネットワークを作らないといけないと考える。飯塚市では、災害対策基本法に基づいて、防災会議が行われているがそのような論議はされているのか。

現在の防災会議には、女性委員が37名中5名（15.3パーセント）しかおらず、女性委員を増やすことが早急の課題ではないか。

地域の防災意識にも温度差があるようだが、飯塚市の自主防災組織の設立状況はどうなっているのか。

⇒ [防災安全課] 防災会議は、例年、5月または6月に開催している。ご意見をふまえ、いつ起こるか分からない災害に備えるため、審議を進めていくとともに、次の改選時期までに、女性委員数を増やす対策を検討したい。

また、平成30年度の自主防災組織設立状況としては、設立届を自治会単位で4団体、まちづくり協議会単位で1団体から提出いただいている。

⇒ [会長より] 自治会組織も含めた防災の取り組みの進捗と課題について集約していただきたい。災害が起こった時に、要支援者、介護の必要な高齢者や障がいのある方々に対しどのような避難の支援ができるのか等も含めてご報告いただき、次回の会議において議論を仕上げていく事を考えていただきたい。

- 予約乗り合いタクシーやコミュニティバスが運行されているが、乗り合いタクシーは事前予約制で急な対応ができず、乗り合いの所要時間も定かではないため、不便を感じている。

	<p>⇒ [まちづくり推進課] 交通対策の課題である公共交通機関の行き届かない部分を補完するため、予約乗り合いタクシーやコミュニティバスを運行している。また、高齢者等の買い物等に対する支援策として、まちづくり協議会運営主体となっただき「買い物支援ワゴン」運行の取り組みも進めている。</p> <p>○ 自治会の役員となる負担などから、自治会に加入しない人もいる。自治会に加入していない若い世代の方たちなどに対し、自治会役員等と話し合える場を設けてはどうか。子育て支援センターなどで話をするのもいいのではないか。</p> <p>⇒ [まちづくり推進課] 自治会への加入については、転入の際に、窓口でチラシの配布や説明による加入案内を行っている。</p> <p>現在、自治会加入率は60パーセントで横ばいの状態であるため、様々な意見をいただき、検討、実行していきたい。</p> <p>⇒ [委員より] 自治会活動に参加することで特典があるなど、人が行動を起こすよう誘導する工夫等も考えられないか。参加することで、地域とのつながりができていくこともあるのでは。</p> <p>⇒ [会長より] 自治会に加入するメリットや安心感などをきちんと説明できていない部分がある。自治会等において、具体的な案を持ち寄ったり、行政も加入促進にむけたアイデアがあれば提示をするなどの取り組みを進めて行く必要がある。</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飯塚市地域福祉推進協議会次第 ・ 【資料1】 公助（行政）の取り組み状況一覧表 ・ 【資料2】 共助の取り組み状況一覧表 ・ 【資料3】 公助、共助の取り組みにおける課題 ・ 【資料4】 事前質問に対する回答
公開・非公開の別	<p>1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 なし)</p>
その他	